

ネット使い 商品を世界に発信

8/21 山形

山形 県主催、中小企業の再生シンポ



基調講演や事例紹介が行われた「やまがた中小企業元気再生シンポジウム」

＝山形市・ホテルメトロポリタン山形

中小企業の再生を地域全体で後押しする気運を高める「やまがた中小企業元気再生シンポジウム」が20日、山形市のホテルメトロポリタン山形で開かれた。

本県では企業の99・9％を中小が占め、労働者の85％が雇用されている。シン

ポジウムは、地域経済の原動力であり県民の雇用を支える中小企業の再生が最重要課題との認識を共有し、中小企業支援の取り組みを促す狙いで県が主催した。

彦神戸国際大経済学部教授

が基調講演を行った。中村教授は、大企業に中小企業があぶら下がっていた従来の構図から、中小企業が自ら情報発信、営業をしなければ生き残れない構図に変化したと指摘。「北欧企業が次々と日本に売り込んできているように、日本で、山形で作っているものを、場所を吟味して売っていかなければならぬ。航空ネットワークが整備され、山形で午前中に収穫、完成したものが翌日には香港やシンガポールで販売できる時代。インターネットを活用すれば誰でも情報発信でき、交通網の充実による速達性とともな中小企業の武器になる」と話した。

続いてリサイクル古着販売店「ドンドンダウン オウエンスデイ」を全国展開するドンドンアップなどの事例が紹介された。